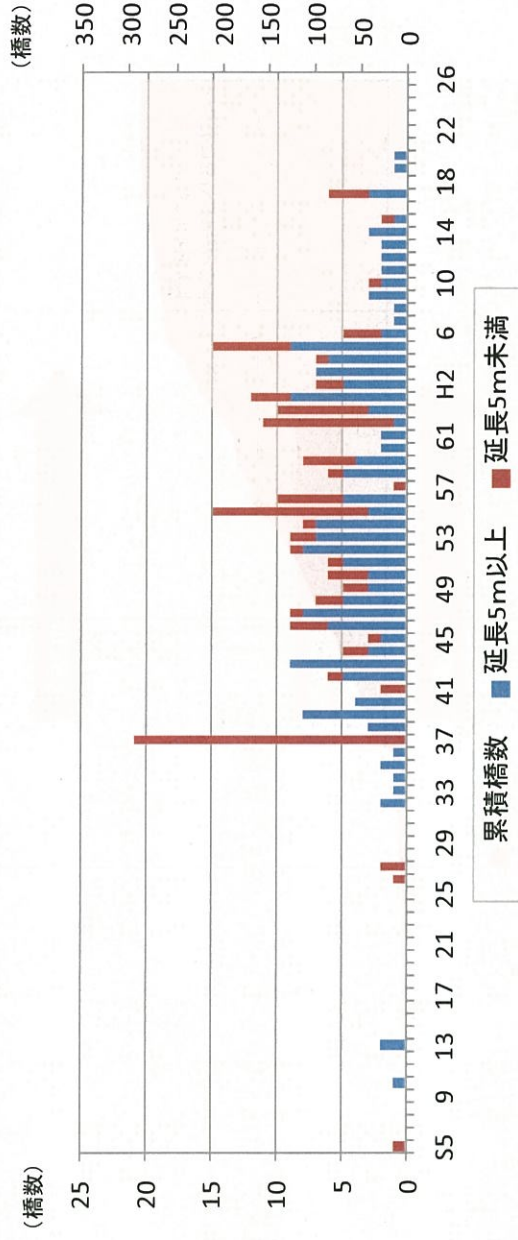


# 2 インフラ施設の現況

## 【橋梁】

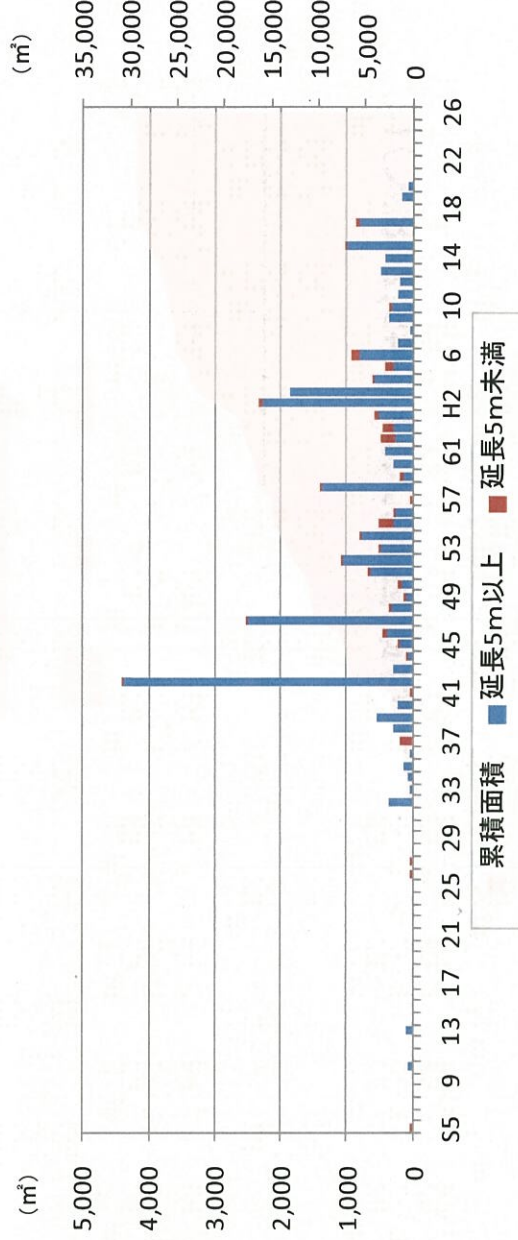
|                     |           |
|---------------------|-----------|
| 合計                  |           |
| 橋梁数                 | 1,082     |
| 延長(m)               | 8,128.57  |
| 面積(m <sup>2</sup> ) | 47,733.36 |



### (橋梁数)

延長5m以上: 459橋(42.4%)  
 延長5m未満: 623橋(57.6%)

※建設年次が不明の794橋のうち  
 (判明分288橋)、  
 延長5m未満は516橋(65.0%)。



# 【下水道】

平成26年度末現在の石巻市公共下水道事業全体の整備状況は、汚水については整備面積2,463ha、供用開始区域人口91,703人で、行政区域人口(149,248人)に対する普及率は61.4%。

| 処 理 区 等  | 供 用 開 始 年 度     |            |           |           |           |           |           |           |           |           |           |            | 備 考        |                 |                 |  |  |                            |
|--|-----------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|-----------------|-----------------|--|--|----------------------------|
|  | S50年度<br>~H11年度 | H12<br>年度  | H13<br>年度 | H14<br>年度 | H15<br>年度 | H16<br>年度 | H17<br>年度 | H18<br>年度 | H19<br>年度 | H20<br>年度 | H21<br>年度 | H22<br>年度  |            | H23年度<br>~H26年度 | H27年度<br>~H36年度 |  |  |                            |
| 北上川下流処理区<br>(A)行政区域人口:88,682人<br>(B)供用開始区域人口:51,906人<br>(C)普及率(=B/A):58.5%   | -               | -          | -         | -         | -         | -         | -         | 合併        | -         | -         | -         | 東日本<br>大震災 | 復旧<br>復旧予定 | 復旧予定            |                 |  |  |                            |
| 北上川下流東部処理区<br>(A)行政区域人口:48,660人<br>(B)供用開始区域人口:27,492人<br>(C)普及率(=B/A):71.2% |                 | 平成10年度供用開始 |           |           |           |           |           |           |           |           |           | 災害復旧       |            |                 |                 |  |  |                            |
| 飯野川処理区<br>(A)行政区域人口:3,855人<br>(B)供用開始区域人口:1,903人<br>(C)普及率(=B/A):68.4%       |                 | 昭和56年度供用開始 |           |           |           |           |           |           |           |           |           | 災害復旧       |            |                 |                 |  | ※昭和56年度は単独公共<br>下水道で供用開始し、流域<br>関連公共下水道は平成12<br>年度から供用開始をした。 |                            |
| 雄勝処理区<br>(A)行政区域人口:2,152人<br>(B)供用開始区域人口:-<br>(C)普及率(=B/A):-                 |                 |            |           |           |           |           |           |           |           |           |           |            |            |                 |                 |  |  | 平成27年3月31日に公共下<br>水道を廃止した、 |
| 北上処理区<br>(A)行政区域人口:2,780人<br>(B)供用開始区域人口:1,098人<br>(C)普及率(=B/A):51.6%        |                 |            |           |           |           |           |           |           |           |           |           |            |            |                 |                 |  |  |                            |
| 鮎川処理区<br>(A)行政区域人口:3,119人<br>(B)供用開始区域人口:1,086人<br>(C)普及率(=B/A):34.8%        |                 |            |           |           |           |           |           |           |           |           |           |            |            |                 |                 |  |  |                            |

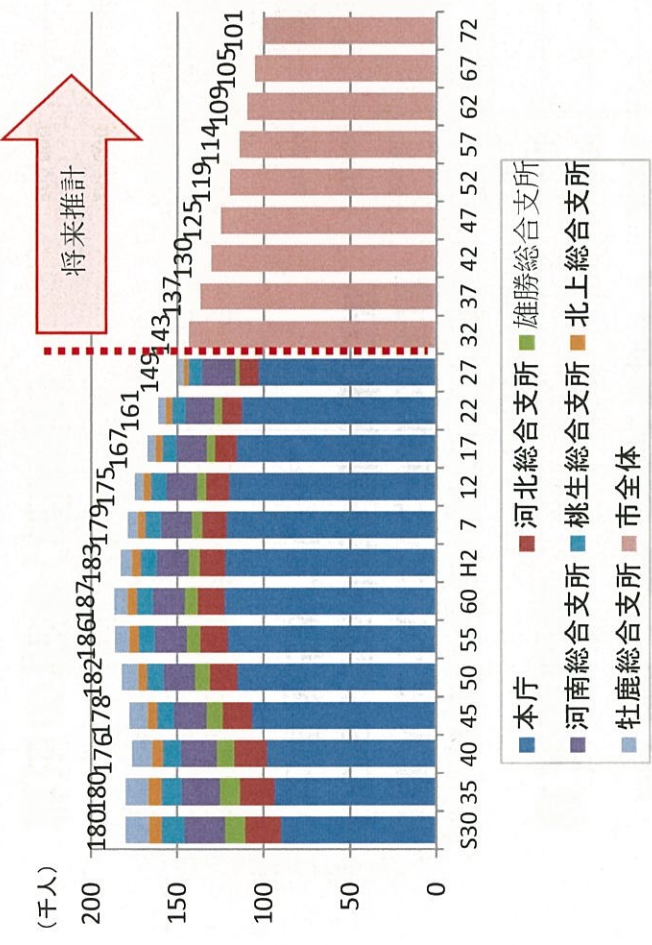


# 3 人口についての今後の見通し

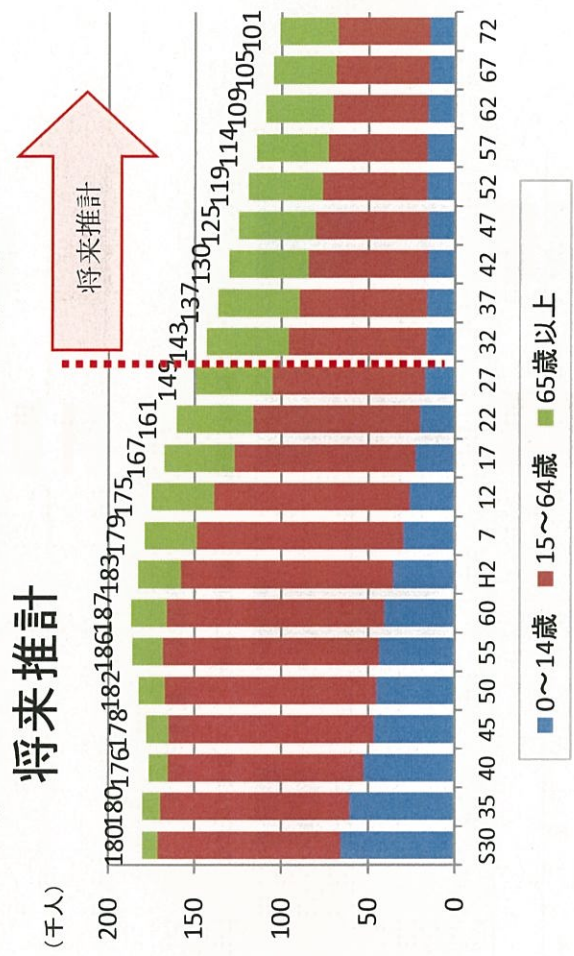
## • 人口推計

平成32年以降も減少し、45年後には総人口が約101千人になる見込みとなる。

①地区別の人口推移及び将来推計



②年齢三区分別の人口推移及び将来推計



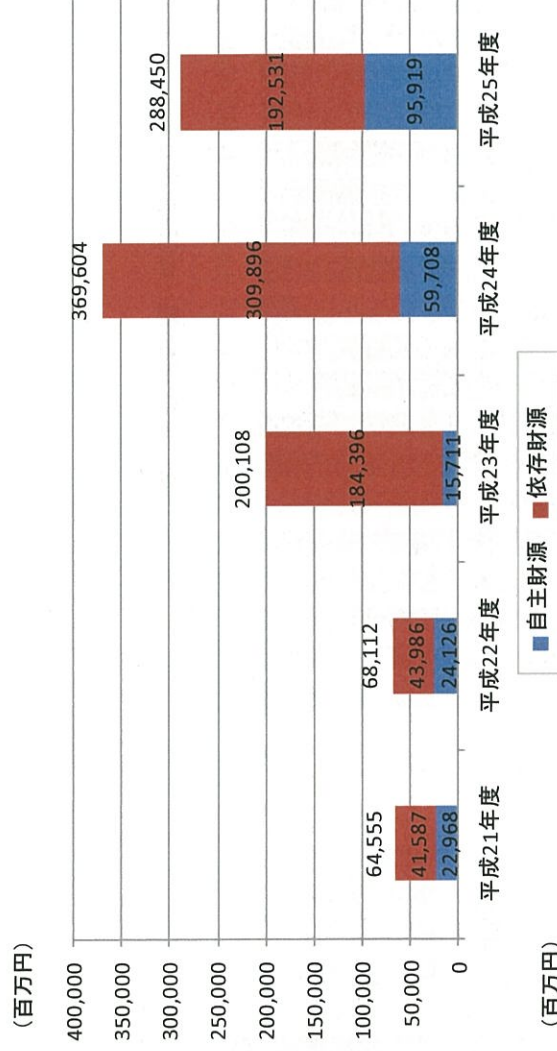
出典：推計値は、7月開催の総合戦略推進会議資料より  
 ただし、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」による人口減少を抑える各種施策により推計値に変更の可能性があります。

# 4 財政状況

## ● 財政(普通会計)

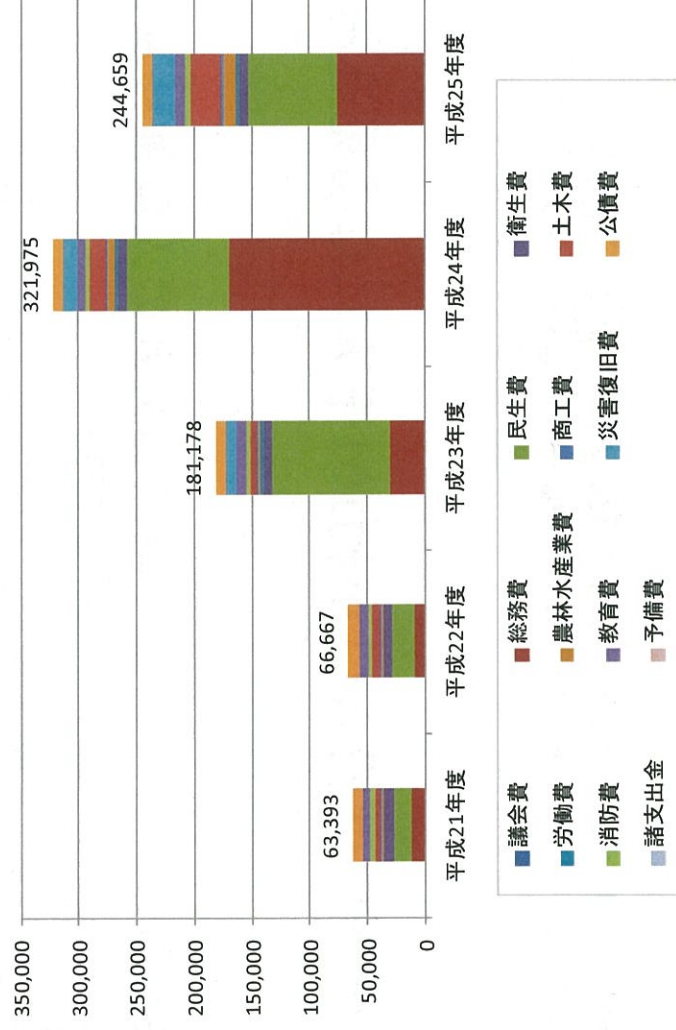
### 歳入の推移

歳入総額に占める復旧復興分の歳入については平成25年度は77.6%であり約8割前後の高い比率を占めている。



### 歳出の推移(目的別)

平成24年度以降は復旧復興事業の本格化に伴い土木費が前年比の2倍程度に上昇している。

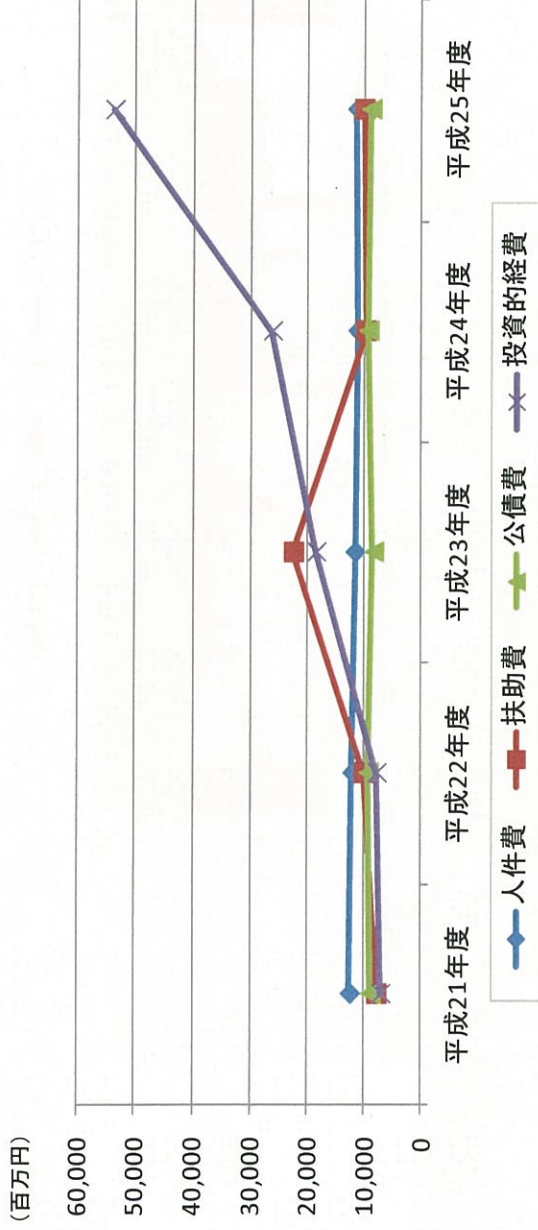




# ● 財政(普通会計)

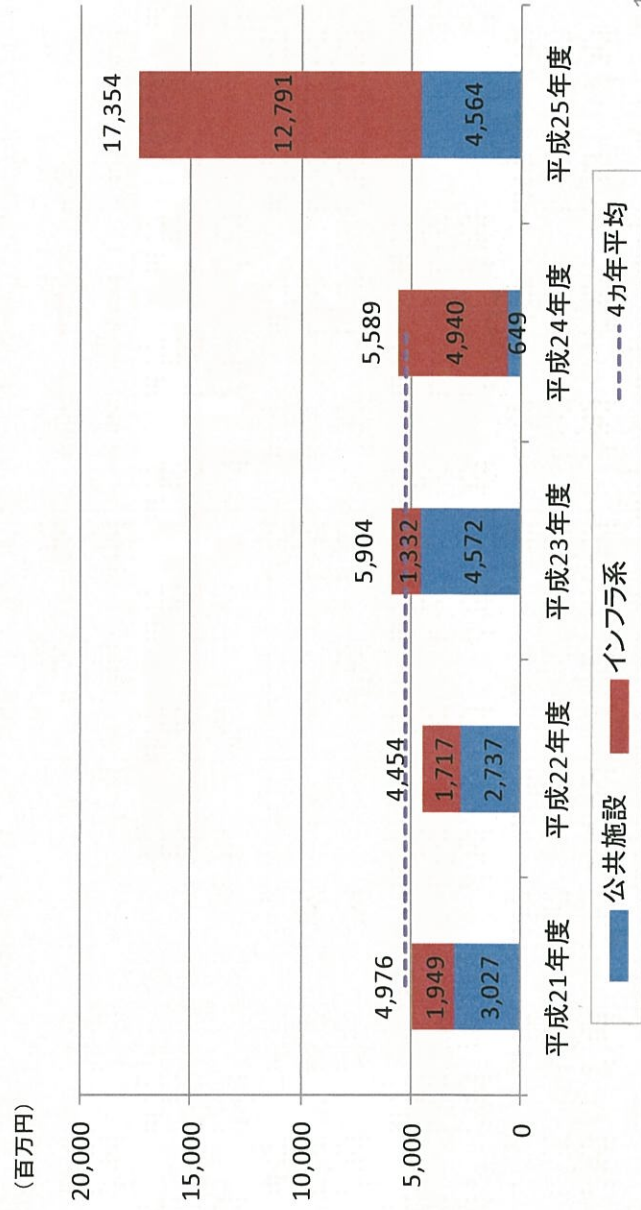
## 義務的経費及び投資的経費の推移

平成23年度以降は積立金や投資的経費が増加している年があり、復旧・復興関連の支出の影響が出ている。



## 工事関係費用(普通建設事業費)の内訳

平成21年度から平成24年度までは総額ベースで年平均約50億円の支出である。

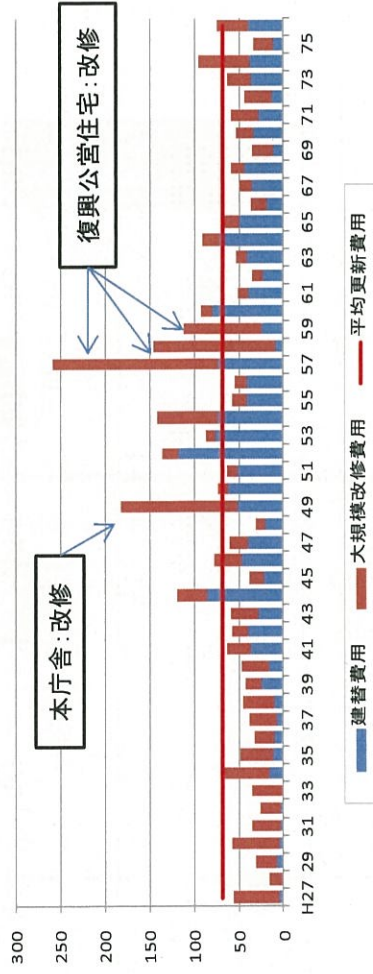


# 5 総務省推奨の試算ソフトによる更新費用の推計

(H27年度から50年間の推計)

公共施設(ハコモノ施設)※単位:億円

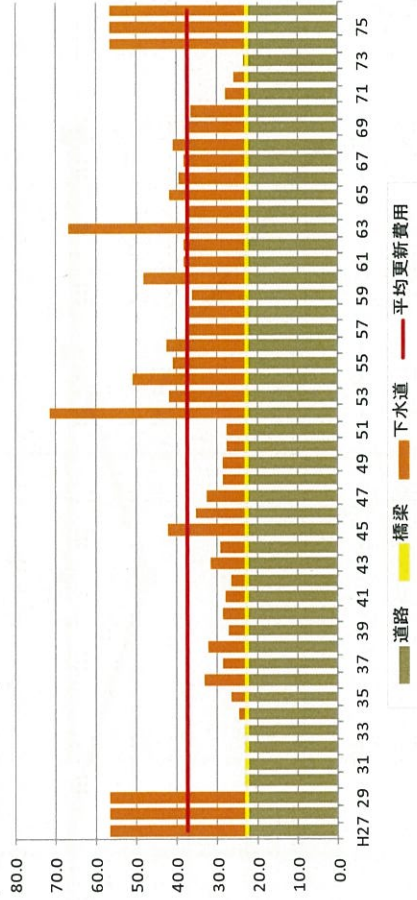
|       | 総額    | 年平均 |
|-------|-------|-----|
| 建替え   | 1,690 | 34  |
| 大規模修繕 | 1,717 | 34  |
| 総額    | 3,407 | 68  |



試算方法(概要): 建築後30年で大規模修繕、同60年で建替えを想定。大規模修繕及び建替えの単価は総務省推奨ソフトにおける施設用途別単価(円/㎡)を採用。なお推計時点より前の大規模修繕費(推計値)は推計時点以後50年間に均等配分。

インフラ施設(道路、橋梁及び公共下水道)※単位:億円

|    | 総額    | 年平均 |
|----|-------|-----|
| 道路 | 1,107 | 22  |
| 橋梁 | 49    | 1   |
| 下水 | 711   | 14  |
| 総額 | 1,867 | 37  |

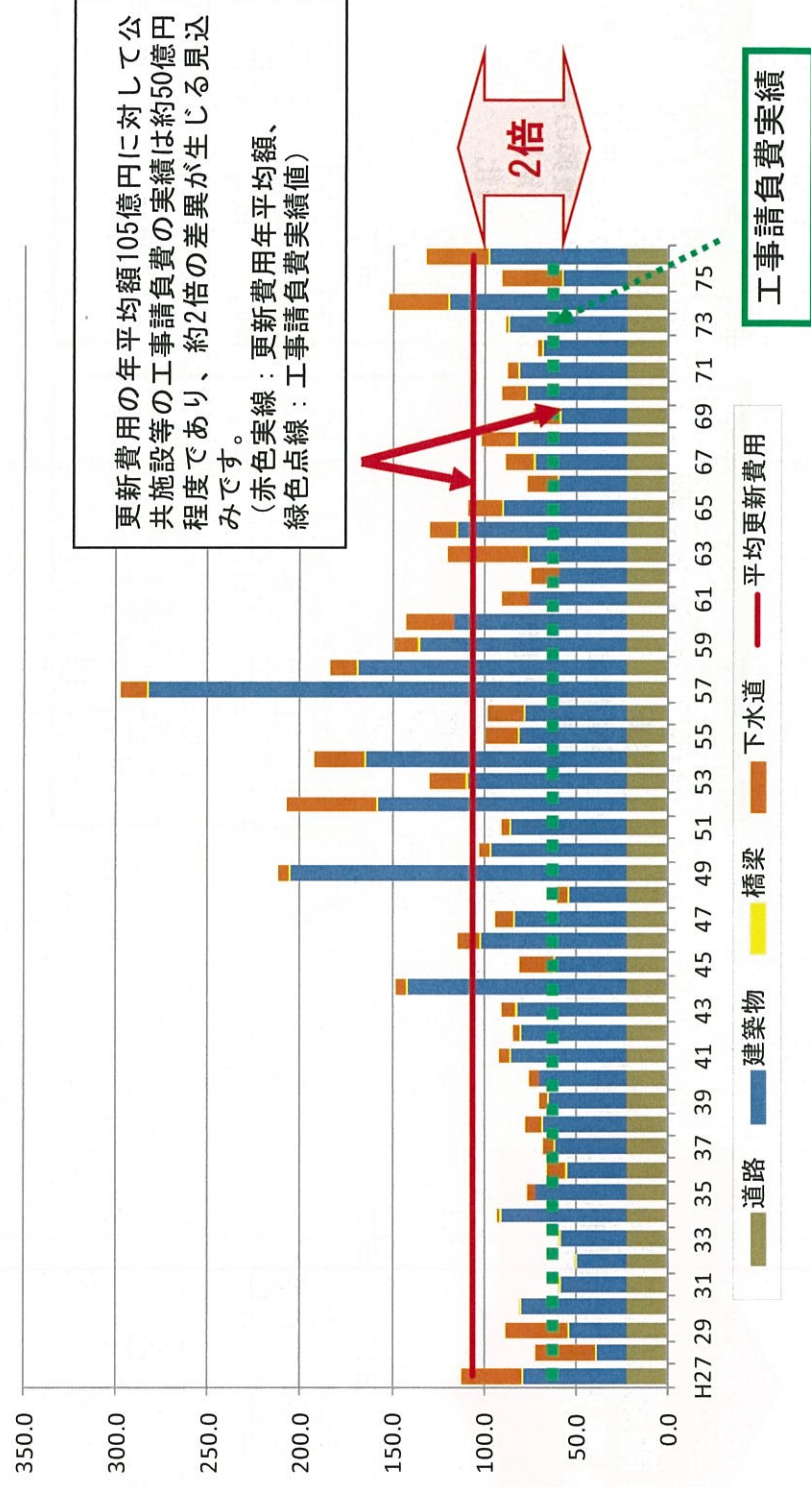


試算方法(概要): 道路舗装は15年ごとに4,700円/㎡にて更新。橋梁は60年ごとに425千円/㎡にて更新。下水道は50年ごとに管径別単価(例: 250mm以下は61千円/m)にて更新。



# 将来更新費用推計(公共施設及びインフラ施設)

50年間の更新費用総額:5,274億円(年平均105億円)



推計の詳細な条件は総務省が推奨している一般財団法人地域総合整備財団〈ふるさと財団〉における「公共施設更新費用試算ソフト」の条件に準拠している。  
 したがって、公共施設等の将来における更新は当該試算ソフトの条件通りに実施するものではない。

# 公共施設の現状と課題

## 公共施設の改修・

## 更新費用の課題

|    |   |
|----|---|
| 社会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口及び生産年齢者の減</li> <li>・少子高齢化の進展</li> <li>・公共施設の利用の低下</li> <li>・公共施設の老朽化対策</li> </ul> |
| 財政 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・税等の自主財源の減</li> <li>・投資的経費の減</li> <li>・公共施設の更新維持費用の確保</li> </ul>                     |

## ハコモノ施設

- ①更新
  - ・多機能化
  - ・広域化
  - ・PPPの活用
- ②長寿命化
  - ・補修
  - ・点検
  - ・保守
- ③管理運営
  - ・地域への移管
  - ・サービス水準の引き下げ
  - ・利用者負担(利用料)の増
- ④その他
  - ・施設の転用
  - ・民間施設の利用
  - ・不要施設の払い下げ

## インフラ施設

- ①更新
  - ・未整備地区の事業推進
  - ・復旧、復興の推進
  - ・PPPの活用
- ②長寿命化
  - ・補修
  - ・点検
  - ・保守
- ③管理運営
  - ・公園等の地域への移管
  - ・サービス水準の引き下げ
  - ・利用者負担(利用料)の増
- ④その他
  - ・低利用箇所の検討

## 財政負担の軽減

- ・適正配置
  - ・長寿命化
  - ・費用の平準化
- 等

## 基本方針の策定

- ・総合基本方針
  - ・類型別基本方針
- の策定による推進